

令和 7 年度 三好市立学校評価報告書

学校名(白地小学校)

校長名(松本 珠実)

作成日 令和8年3月17日

1 総括評価

評価分野	自己評価 (平均値)	自己評価結果の概要	学校関係者評価の概要	次年度の改善策
① 学校経営及び学校運営に関する評価	3.6	<p>○概ね肯定的な意見が多かった。特に、保護者や地域との連携や、防災・安全教育や特色ある教育活動については、保護者の100%が肯定的な意見であった。学校教育目標に向け、地域との活動を教育活動に位置づけ教育に生かした成果であると考え。</p> <p>○課題として、教職員では働き方改革について、保護者では家庭での生活や学習について、児童ではいじめ防止について課題が見られた。働き方改革については、教員数が少なくなり、一人一人の校務量が多くなったことや、図書館教育の発表があったためと考える。家庭での生活・学習については、児童クラブで宿題を済ませる児童が多いため、家庭で学習に取り組む時間が少ないことや、ゲーム等の時間が多いことが要因と思われる。いじめについては、毎月児童アンケートを実施して実態の把握や指導を行っている。いじめられたという児童はいないが、いじめをみた、という児童がいる。更に丁寧に児童の様子を見ていくと共に、いじめの捉え方について、理解を図る必要がある。</p>	<p>○学校関係者アンケートでは、概ね肯定的な意見をいただいた。また、次のようなご意見もいただいた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小規模だが、先生方は一生懸命にいろいろなことに取り組んでいる。地元としても今後とも一緒に応援していきたい。 ・学校環境の美しさ、子供たちの様子、行事での頑張る姿、先生方の様子などが素晴らしい。 <p>○運営協議会では、地域を愛する子どもの育成という学校経営の方針や、地域連携や地域の教育力を生かした教育活動について大変良いことである、というご意見をいただいた。いじめについては、アンケートなどから、児童がいじめの定義がはっきりしておらず、友達同士がふざけている様子を見ていじめと感じていることもあるのではないかと、というご意見をいただいた。</p>	<p>○教職員の健康管理や業務改善・働き方改革が課題である。更なる業務の見直しと精選を行う。それに伴い、地域との活動についても、充実・継続を図りつつ、方法を工夫して教職員の負担を軽減していく。</p> <p>○児童への家庭での望ましい学習や生活について指導を継続すると共に、家庭へ学習内容を知らせるなどの情報提供を行い、協力を得る。</p> <p>○いじめ防止について、いじめの定義や状況について児童の知的な理解を図ると共に、アンケート内容を工夫して、丁寧な実態把握といじめの未然防止に努める。</p>
② 教育目標及び教育計画に関する評価	3.5			
③ 主要な教育活動に関する評価	3.3			
④ 保護者や地域との連携に関する評価	3.4			
⑤ その他、上記以外に関する評価()				

(1) 4段階評価とする。

評価基準 4=達成度が 80~100 %
 3=達成度が 50~ 80 %
 2=達成度が 30~ 50 %
 1=達成度が 30% 未満

(2) 総括評価表の「評価(平均値)」については、「2 分野別評価」の(1)~(5)の評価をそれぞれ平均(小数第1位)したものとす。

(3) 分野別評価の「評価項目」の「その他」については、各学校において必要事項を記入のうえ評価する。

(4) 総括評価の「評価分野-その他」の項目の()には、分野別評価の「(5) その他に関する評価」の中から、特に重要視する事がらを記入する。

(5) 総括評価及び分野別評価の「学校関係者評価の概要」欄は、学校関係者評価委員会(学校運営協議会も可)において評価された結果をまとめたものを記入する。

(6) 「次年度の改善策」の欄は学校評価委員会及び学校関係者評価委員会において協議された改善策をまとめたものを記入する。